



おしらせ

新しい協力隊として 阿部さんが着任

オリーブ担当の地域おこし協力隊として、
新たに阿部智宏さんが着任しました。



令和2年4月1日に新しく地域おこし協力隊に就任した阿部智宏です。所属は農林水産課のオリーブ振興室、栽培技術指導員になります。

すでに地域おこし協力隊として1年

目の3ヶ月あまりが経過しましたが、職員の皆様や地域のみなさんのおかげで、とても充実した日々を過ごさせていただいております。

まだまだ、農業やオリーブに関しての知識や栽培技術が不足しており、ドタバタと仕事を進めておりますが、なんとか自分なりに吸収して、日々汗を流しながら、2年目、3年目につなげていきたいと思っております。

そして任期中に身に着けた知識や技術を、生産者の皆様や江田島市に住む人々に還元し、江田島市の未来に貢献していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

国際品評会で金賞を受賞



NYの品評会で金賞を受賞

江田島オリーブ株式会社が製造するオリーブオイル「安芸の島の実 江田島搾り」が、国際品評会「ニューヨーク国際オリーブオイルコンペティション2020」にて金賞を受賞。

5月に開かれたこの品評会には、27ヶ国から871本のオイルが出品。江田島市民が育てたオリーブ果実などを原料とした「安芸の島の実 江田島搾り」が見事金賞に選ばれました。おめでとうございます。

「安芸の島の実 江田島搾り」は江田島オリーブファクトリーなどでお買い求めいただけます。

オリーブだより えたじま

オリーブの「今」を伝える情報紙

コロナに負けるな

VOL.17 2020 夏 | コロナ禍の春から夏へ



オリーブの幼果（6月撮影）



オリーブ トピックス

ご注意ください



2020年の開花メモ



柿浦モデルオリーブ園では、5月19日にまずマンザニロ種が開花しました。暖冬の影響で開花が早まるのではないかと心配していましたが、例年並みの開花となりました。柿浦モデル園では、マンザニロに続き、ネバディロ・ブランコ→ミッション→ルッカの順で開花しました。

オリーブ隊短信



江田島市は海と山が近く、自然が豊かで、家の周辺を探索するだけでも飽き足りません。産直市の安さにも驚きました。日常生活がとても贅沢な江田島の魅力をオリーブの力でもっと広げていきたいなと思っております。<阿部>



6月5日、ついにお店をオープン出来ました。お店の前にもオリーブを植えました。「しまのぼん souda!」金土日曜営業。よろしくお願いいたします♪<西村>



難しいご時世となっておりますが、変わらずに育っているオリーブを見るとほっとします。暑い夏になりそうですが、収穫の秋まで頑張っていきたいと思います。<峰尾>

オリーブだより VOL.17 2020年7月1日発行
発行：江田島市オリーブ振興協議会

オリーブ立枯病について

昨年、江田島市内で初めて立枯（たちがれ）病の発生が確認されました。

オリーブ立枯病は、2017年に新たに日本で発見されたオリーブの病気です。

青枯病菌が原因で、この病気にかかると落葉や果実の萎凋（いちょう）が起こります。

現在のところ、本病に対する登録農薬がないため抜根して焼却するという対処になります。

一部の枝が急に枯れるなど、気になる症状の木がありましたら、オリーブ振興室までご連絡ください。



立枯病に感染して落葉した枝

裏年ながら開花多め

新型コロナウイルスの影響で過去にない暮らしを体験した春。いかがお過ごしでしょうか？

オリーブの樹は今年も5月20日頃に白い花を咲かせ、果実をつけています。大変な社会情勢となっておりますが、例年と変わらぬ成長を見せる自然を見ると、なんだか心がほっとしてきますね。

そんななか、嬉しいニュースがありました。

江田島オリーブ株式会社の製造する「安芸の島の実 江田島搾り」が、ニューヨークで開催された国際品評会にて金賞を受賞しました。2019年のイタリアでの品評会における受賞に続いての快挙です。

また、市役所にはオリーブ担当の新たな地域おこし協力隊が着任しました。福山市出身の阿部智宏さん。栽培担当として活動が始まっています。

江田島オリーブファクトリー 営業再開

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、およそ3ヶ月間にわたって休業していた「江田島オリーブファクトリー」（大柿町大君862-3）。6月2日から営業を再開されています。

レストランでは夏メニューが続々と登場。お食事やお買い物に、ぜひお出かけください。



★店内席は予約のみ ☎0823-57-5656